

## CS こひつじ科礼拝式次第

2022年5月8日 午前9時30分

2022年度年間テーマ：「イエス様の祈り『主の祈り』によって、祈ることを身につけよう」

テーマ曲：ワワワいっしょに（92番）

暗唱聖句：「罪の支払う報酬は死です。しかし、神の賜物は、わたしたちの主イエス・キリストによる永遠の命なのです。」  
ローマの信徒への手紙 6章23節

3、きよいあさあけて（こどもさんびかをお用ください）

おいのり 礼拝に招かれたことを感謝しましょう

せいしよ 創世記 2章18～25節

主なる神は言われた。

「人が独りでいるのは良くない。彼に合う助ける者を造ろう。」

主なる神は、野のあらゆる獣、空のあらゆる鳥を土で形づくり、人のところへ持って来て、人がそれぞれをどう呼ぶか見ておられた。人が呼ぶと、それはすべて、生き物の名となった。人はあらゆる家畜、空の鳥、野のあらゆる獣に名を付けたが、自分に合う助ける者は見つけることができなかった。

主なる神はそこで、人を深い眠りに落とされた。人が眠り込むと、あばら骨の一部を抜き取り、その跡を肉でふさがれた。そして、人から抜き取ったあばら骨で女を造り上げられた。主なる神が彼女を人のところへ連れて来られると、人は言った。

「ついに、これこそわたしの骨の骨わたしの肉の肉。これをこそ、女（イシャー）と呼ぼうまさに、男（イシュ）から取られたものだから。」

こういうわけで、男は父母を離れて女と結ばれ、二人は一体となる。人と妻は二人とも裸であったが、恥ずかしがりしなかった。

おはなしとおいのり 「男と女、互いに助ける者として」 門脇献一校長

おはようございます。

神様は人を御自分に似たものとして造られました。それは、人が神様と親しく交わりながら神様の作品であるこの世界をまもることができるようになるためでした。

でも、神様は人がそれを一人ぼっちですることはよくないとお考えになりました。人にはその役割と一緒に果たす助け手、仲間、パートナーが必要だと考えたのです。では、だれがそれにふさわしいのでしょうか？

それは、最初の人と同じだけれどちがう人でした。何が同じでしょうか？それは、最初の人と同じく神様に似ており、神さまと親しく交わりながらこの世界をまもることができる人です。何が違うのでしょうか？創世記では、男と女が作られたとあります。つまり、お互いに違う個性や特徴を持っているというこ

とです。それぞれ違う強さと弱さを持っているので、二人はお互いに助け合うことではじめて神様が人にお与えになった役割を果たすことができるようになるのです。

でもこれは一組の男の人と女の人の関係だけを言っているわけではありません。私たちは一人一人違うものとしてお互いに助け合い、愛し合いながらでなければ、神さまが人に与えられた使命を果たすことはできません。

悲しいことに、今では、人の罪により、人は神さまから離れてしまい、人と人の間の関係も歪んだものになってしまっております。お互いに違うということが、けんかの種になったり、差別を呼んだりしてしまいます。私たちはそのままではお互いに助け合い愛し合うことができません。

元々の正しい関係を取り戻すには、神さまとも人とも仲直りするためには、イエス様の救いが必要です。そして、神さまを共に礼拝することから、人と人の正しい関係が始まるのです。どうか、私たちが神さまと共に、お互いに愛し合い助け合いながら生きてゆくことができますように。

おいのり

神さま、あなたがこの世界と人間を創造してくださったことをおぼえ、あなたのみ名をほめたたえます。あなたは人を男と女に創造され、互いに助け合うものとしてくださいました。しかし私たちは、罪のため互いに助け合うことなく憎み傷つけあうことに悩みます。どうかイエス様によって救ってください。どうか罪赦されたものとしてともにあなたを礼拝し、助け合うものにしてください。イエス様のみ名によってお祈りします。

\* 小さなお子さまには、話の内容等をわかりやすく、年齢に合わせて噛み砕いてお話くださいますようお願い致します。

(けんきん) 会堂 2 階掲示板下の机に献金箱を設置しました。

おいでの際におささげください。

58、アーメンハレルヤ (こどもさんびかをお用ください)